

営繕とうほく

EIZEN TOHOKU

vol.162

2023.09

発行
東北地方整備局
営繕部
盛岡営繕事務所



【 福島第二地方合同庁舎 】

福島第二地方合同庁舎については、下記HPにも掲載しております。

東北地方整備局HP 営繕部 福島第二地方合同庁舎

<https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00093/K00490/eizen/kansei/fuku2-gou.html>

CONTENTS

完成施設紹介【福島第二地方合同庁舎】	2～4
令和5年度 国土交通行政関係功労者表彰	5～8
11月11日は公共建築の日～11月は公共建築月間～	9～10
「公共建築相談窓口」について	11

完成施設紹介【 福島第二地方合同庁舎 】

福島第二地方合同庁舎は、福島財務事務所、福島地方气象台、福島労働局、自衛隊福島地方協力本部が入居する施設です。

いずれの官署も築後 40 年以上が経過し、施設の老朽化、業務の多様化や業務量の増大による狭隘が著しく、一部の官署においては耐震性能を満たしていない状況でした。

本事業は、それらの不具合を解消するため平成 30 年度の設計開始から約 5 年の歳月を経て、入居官署、来庁者及び周辺にお住まいの皆様のご協力のもと、無事に施設が完成しました。



[南面外観]

【施設概要】

施設名：福島第二地方合同庁舎
所在地：福島県福島市花園町 5-46
規模・構造：鉄筋コンクリート造 6 階建（塔屋 1 階）
延べ面積：6,549.34 ㎡
付属棟：車庫（木造、延べ面積：295.2 ㎡）
自転車置場（木造、延べ面積：58.3 ㎡）

【設計概要（外構・外観計画）】

建物をセットバックすることで、市民に親しまれる既存樹木（三春の滝桜の孫桜：しだれ桜）や新たな植栽（桜、ツツジ、キンモクセイ等）を活かし、まちの景観や歴史、自然と調和した前庭を整備しています。また、建物の低層部（1 階外壁）は阿武隈川の船運の拠点として隆盛した煉瓦づくりの米蔵をモチーフとして、煉瓦調の外壁タイルを採用しています。



[景観資源を活かした前庭]

手前：福島第二地方合同庁舎 奥：福島地方・家庭裁判所
手前に見える桜が三春の滝桜の孫桜（しだれ桜）



[煉瓦調の外壁タイル（1 階外壁）]

【設計概要（平面・空間計画）】

入居官署の特性に配慮し、窓口業務のある官署は低層階に配置し、福島地方气象台は南西に位置する活火山への目視確認を考慮し最上階に配置しています。

執務空間においては将来の利用形態やシステムの変更に伴い、レイアウト変更など柔軟に対応できるフレキシブルな平面構成としています。また、1 階に授乳室、各階に多目的便所を設けることで多様な来庁者の利用に配慮しています。



[フレキシブルな平面構成とした執務室]

【 設計概要（防災計画） 】

災害応急対策活動拠点としての耐震性や設備機能（非常用発電機等）を確保するとともに、周辺住民が一時的に避難できるスペース（エントランスホール、会議室）を活用できるものとしています。

また、非常用発電機が万が一停止した場合でも、太陽光発電の蓄電池により、1階エントランスホールの照明やコンセントに電力供給が可能としています。



[一時的な避難スペース（1階会議室）]



[太陽光発電設備]

【木材利用の推進に関する取り組み】

木材利用推進の取り組みとして、付属棟の車庫、自転車置場を木造にて整備しています。

また、1階エントランスホールはあたたかみのある雰囲気をつくるため杉（福島県産）等木材を使用しています。



[自転車置場]

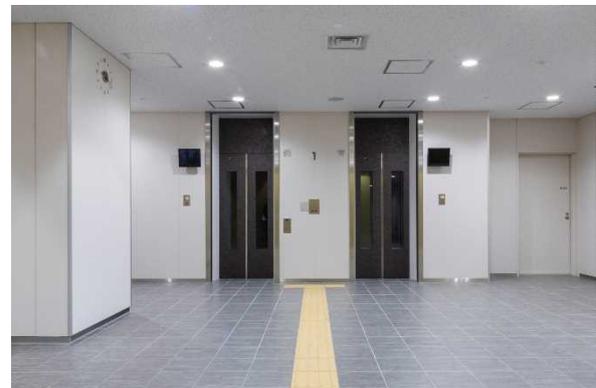


[1階エントランスホール]

【ユニバーサルデザインに関する取り組み】

本事業では、ユニバーサルデザインの実現を目指す検討会を3回（計画段階、設計段階、施工段階）開催し、高齢者、障がい者等を含む全ての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用出来る整備に取り組みました。

検討会においては、エレベーターの中の様子が分かるようにしてほしいと意見があり、1階ホールにエレベーター内部の様子が分かるモニターの設置、エレベーター扉に防犯窓を設置するなど施設整備に反映しました。



[1階エレベーターホール]

- 正面：①エレベーター扉上部に内部の様子が分かるモニターを設置
②エレベーター扉に防犯窓を設置

設計監理：(株)エーシーエ設計
東北地方整備局営繕部

施工：(建築) 戸田建設(株) 東北支店
(電気設備) 東光電気工事(株) 東北支社
(機械設備) ダイダン(株) 東北支店
(E V設備) 日本オーチス・エレベータ(株)東北支店

施工監理：(株)日総建 東北事務所
東北地方整備局営繕部

電気設備：電灯設備、受変電設備、発電設備（非常用発電機、太陽光）、構内交換設備、誘導支援設備、テレビ共同受信設備、火災報知設備

機械設備：空気調和設備、換気設備、自動制御設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備、給湯設備、消火設備、ガス設備

E V設備：13人乗、2台

令和5年度 国土交通行政関係功労者表彰

国土交通行政関係功労者表彰式の開催

令和5年度国土交通行政関係功労者（優良業務施行者、優良工事施工者、優良工事技術者（東北地方整備局長表彰、営繕部長表彰、盛岡営繕事務所長表彰））表彰式が行われました。

これは、令和4年度に完了・完成した業務・工事において、成績が優秀であったものの他、卓越した技術力と責任感をもって業務・工事を完遂し、優秀な成果をおさめた企業を対象とするものです。

優良業務実施企業表彰（東北地方整備局長表彰）

業務名称：郡山監督署（21）設計業務

実施企業：株式会社 昭和設計 仙台事務所

本業務は、郡山労働基準監督署の既存庁舎は昭和48年（1973年）に建設されたものであり、老朽化及び狭隘、設備の不備により行政サービスに支障をきたしていることから、これらを解消し利用者の利便性並びに行政サービス向上を目的とした庁舎新築の設計業務です。

受注者提案により設計初期段階からBIMを活用し設計内容を3次元モデルで作成することで、設計意図の可視化及び出来形イメージを入居官署と共有することが可能となり、外観やエントランスホール廻りの検討では細部にわたって協議・検討を行い、最適な計画を作成しました。

また、入居官署からの要望や設計と条件を的確に把握することを目的として「確認シート」を作成し、関係者間で共有・活用することで基本・実施設計の各段階で設計への反映漏れや分野間の不整合の確認を実施しました。

更に、基本設計の途中段階で設計と条件として政府実行計画に基づく建築物の省エネルギー対策目標（ZEB Oriented 相当以上）を追加することとなりましたが、受注者は速やかに環境負荷低減技術の検討及び省エネルギー計算を実施し、目標を達成しました。

これらの取り組みにより、設計の品質を向上し、良質な庁舎の設計を完了させました。



【東北地方整備局長表彰（優良業務施行者）集合写真】

優良工事施工企業表彰（東北地方整備局長表彰）

工事名称：福島第2地方合同庁舎（20）機械設備工事

施工企業：ダイダン 株式会社 東北支店

優良工事技術者表彰（東北地方整備局長表彰）

監理技術者：赤間 功一（あかま こういち）

本庁舎は、福島県福島市内に分散していた老朽化、狭あい、施設の不備等の問題を有する国の5官署を集約し、様々な利用者の利便性向上のほか、災害応急対策活動の拠点として耐震安全性を確保して整備したものです。

施工にあたり、長年使用されていなかった既存公共桝への接続工事において、将来的な不具合を未然に防ぐため事前調査及び不具合箇所の補修を積極的に行うとともに、完成引き渡し後の維持管理を考慮した空調機器や冷媒管のメンテナンス動線の確保や、配管内の点検・清掃作業が容易となるよう保温材の施工を工夫するなど、様々な提案と高い品質管理により工事目的物が完成しました。



【庁舎外観】



【機械室】



【東北地方整備局長表彰（優良工事施工者）集合写真】

営繕優良工事施工企業表彰（営繕部長表彰）

工事名称：鶴岡第2地方合同庁舎（20）機械設備工事

施工企業：第一設備工業 株式会社

営繕優良工事技術者表彰（営繕部長表彰）

監理技術者：安部 達哉（あべ たつや）

現場代理人：星 祐哉（ほし ゆうや）

本庁舎は、山形県鶴岡市内に分散する国の3官署を集約することにより、利用者の利便性向上のほか、中心市街地の賑わいの創出や市内の景観への調和など、まちづくりへの寄与を期待して整備したものです。

施工にあたり、施工BIMによる取り合い確認の効率化、配管の工場加工による生産性向上やWebカメラを活用した安全パトロールを実施する等、様々な工夫を行いながら生産性の向上と安全対策に取り組みました。

またコロナ禍において、世界的な半導体不足により一部機器類の納期が大幅に遅延する中、店社との連携により製造者と積極的に情報交換を行うことで工期内に工事を完成しました。



【庁舎外観】



【熱源機械室】



【受賞者との記念撮影】

優良工事施工企業表彰（盛岡営繕事務所長表彰）

工事名称：青森第2地方合同庁舎（22）機械設備改修外1件工事

施工会社：エルゴテック 株式会社 北日本支店

優良工事技術者表彰（盛岡営繕事務所長表彰）

監理技術者兼現場代理人：杉松 宏（すぎまつ ひろし）

本工事は、青森第2地方合同庁舎及び青森法務総合庁舎の空気調和設備の配管更新並びに2庁舎の中央監視装置の更新を行う機械設備改修工事です。

入居官署が業務を行いながらのいわゆる居ながら改修工事で、振動や騒音等が発生する工事は閉庁日に行うほか、厳冬期までの空調配管の更新施工など、入居官署の業務に支障が生じないような施工計画の立案や工程管理が求められました。

受注者は、振動や騒音等が発生する工事を少なくするため、貫通部分の再利用や解体作業の最小化、併せて更新配管のプレハブ化による現場組み立て作業を省力化し、施工品質を均一化する施工計画を立案しました。また施工時期の制約がある中、施設管理者と定期的な打合せを実施し、綿密な調整と的確な工程管理を行うことで入居官署の業務に支障をきたすことなく、厳冬期前に空調配管を更新し、暖房運転を行うことが出来ました。

更に、工事書類の効率化や情報共有の迅速化を図るため情報共有システムを導入するなど、ICTを積極的に活用し工事関係者との調整を円滑化、生産性向上に取り組み工期限内に工事を完成しました。



【受賞者との記念撮影】



【中央監視装置の更新】

見学施設 1：あきた芸術劇場ミルハス

見学会テーマを「秋田の文化芸術の創造拠点となる施設」と題し、2022年9月に秋田市にオープンした施設「あきた芸術劇場ミルハス」を見学します。

見学会では、施設概要と建物の特徴を紹介のうえ、県産材や伝統工芸品を随所に散りばめ、秋田らしさを演出した様子をご覧ください。

日時：11月17日（金） 13:30～16:30（予定）



見学施設 2：宮城県林業技術総合センター

見学会テーマを「林業の普及指導を担うシンボリックな施設（CLTパネルの新技术を導入）」と題し、2021年9月に宮城県黒川郡大衡村に整備が完了した施設「宮城県林業技術総合センター」を見学します。

見学会では、施設概要と建物の構造に採用されているCLTパネル工法について紹介のうえ、普段は入ることの出来ない施設内の各部をご覧ください。

日時：11月29日（水） 13:00～17:00（予定）



※ 各イベントの詳細については、後日、下記 URL の公共建築月間関連ページに掲載いたします。
東北地方整備局営繕部[イベント紹介] <https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00093/K00490/eizen/event/eventtop.html>
(一社) 公共建築協会[公共建築の日紹介] https://www.pbaweb.jp/pb_date/events/

営繕とうほく編集室

〒980-8602

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟
東北地方整備局 営繕部 計画課内
TEL 022-225-2171(代表)
E-mail: thr-82keikaku@ki.mlit.go.jp

ホームページアドレス

- 東北地方整備局 <https://www.thr.mlit.go.jp/>
- 盛岡営繕事務所 <https://www.thr.mlit.go.jp/moriei/>

「営繕とうほく」は東北地方整備局ホームページでもご覧になれます